

2020年1月 旅行取扱高状況報告

< 旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比
海外旅行	23,325,888	25,436,845	91.7%
国内旅行	3,782,347	3,787,379	99.9%
訪日旅行	1,899,393	1,960,177	96.9%
合 計	29,007,629	31,184,402	93.0%

上記、月次取扱高は、エイチ・アイ・エス及び同グループ5社（オリオンツアー、クオリタ、クルーズプラネット、ジャパンホリデートラベル、エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した取扱高の合計となります。また2019年11月より、日本における旅行事業のみに集計基準を変更しております。それに伴い、前期数値も同基準へ変更しております。

1. 海外旅行

海外旅行は、香港・韓国の情勢不安の影響に加え、旧正月の連休が昨年2月に対し今年は1月だったことに伴い座席供給が逼迫したこと、下旬からは新型コロナウイルス感染拡大の影響も見えはじめたことにより、全体では低調に推移いたしました。一方で方面別では、引き続き欧州が好調に推移しており、スペイン・ポルトガルが前年同月比126%、フランスが同123%と伸張したほか、需要が継続しているグアムも同110%と増加いたしました。

以上の結果、海外旅行の総取扱高は、前年同月比91.7%の233億2,588万円となりました。

< 海外旅行 方面別・商品別・チャネル別データ >

① 方面別

方 面	前年同月比
アジア	78.0%
オセアニア・南太平洋	97.6%
ハワイ・ミクロネシア	95.5%
欧州・中近東・アフリカ	112.5%
北米・中南米	103.1%

② 商品別

商 品	前年同月比
手配旅行	88.6%
企画旅行	97.0%

③ チャネル別

チャネル	前年同月比
店舗	91.2%
オンライン	107.3%

2. 国内旅行

国内旅行では、北海道が前年同月比 105%、沖縄が同 108%、九州が同 106%と、主要方面はプラスで推移いたしましたが、暖冬影響でスキーツアーの弱含みが一部みられたこともあり、全体では前年並みとなりました。

以上の結果、国内旅行の総取扱高は、前年同月比 99.9%の 37 億 8,234 万円となりました。

3. 訪日旅行

訪日旅行では、引き続き東アジアからの受客において単価の減少がみられていることに加え、下旬からは新型コロナウイルス感染拡大の影響も見えはじめたことにより、全体では低調に推移いたしました。

以上の結果、訪日旅行の総取扱高は、前年同月比 96.9%の 18 億 9,939 万円となりました。

以上の結果、2020 年 1 月の旅行取扱高の総計は、前年同月比 93.0%の 290 億 762 万円となりました。

以 上

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス

I R室 : 03-6388-0707

広報室 : 03-5908-2346